

みんなのギカイ

9月議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

予算……………	P1～
決算……………	P2～
委員会……………	P3～
一般質問……………	P4～
きかせてあなたの未来 ……………	P11



9月定例会

宇陀市のこんなことが決まりました。

9月定例会 9月2日～9月27日
今回の議案は

市長提出議案…… 23件
人事…… 2件
議員発議議案…… 3件
選挙…… 1件
その他・報告…… 4件

今号では
この中から
6つを
Pick up

全ての議案名と結果は宇陀市ホームページをご覧ください。
議会事務局へお問い合わせ下さい。

Pick up 1

榛原駅前新しい観光施設がオープンします

榛原駅前のミスタードーナツ跡地に観光案内所・特産品直売所・喫茶等の機能を持つ複合施設を新設することになりました。オープンは来年度中を予定しています。

なお、施設の整備は宇陀市が行い、運営は指定管理者制度を用いて民間企業・団体が行います。

こんな質問が出ました

質問 設置に至る背景をお示しください。

答弁 ミスタードーナツ撤退以降、大手企業に対して進出の意向を聞き取っておりましたが、進出したいという企業はなく、市として利活用することといたしました。

質問 駅前商店街など駅周辺の商店の方々に対してアンケートや意見交換などを行う必要はないのですか。

答弁 榛原駅前は宇陀市の玄関口であり宇陀市全体を代表する施設を設けるべきであると考えています。なお公式ホームページから意見募集を行う予定です。

質問 カフェを設置するとすると近隣との競争が起きるではありませんか。

答弁 施設に賑わいが必要です。そのためには最低限、喫茶コーナーが必要ではないかと考えます。

Pick up 2

室生口大野駅近くに移住体験施設ができます

設置の経緯

市内では、少子高齢化による人口減少や空き家が増加傾向にあることから、それらを有効活用することで移住希望者の受け皿としての空き家の利活用を進めています。

また、市外から移住体験施設の問い合わせも多数あることから、自然豊かで文化遺産が多く残されている宇陀市で、安心して暮らすことができる生活環境を体験し、地域のまちづくり活動の活性化に繋げていくことも含め、移住者向けの体験施設を計画しています。

事業の目的

新しい生活様式への対応として、宇陀市の良さを生かした「生活・働く」スタイルとして、空き家を活用した都市部からの移住体験施設等によるリビングシフトを推進します。

事業の概要

令和2年度、売買契約を結んだ宇陀市室生大野の古民家に改修工事(水回り・玄関・1階、2階の居間等)を施し、工事完了後は速やかに供用開始し、移住希望者向けプロモーションの実施とお試しサテライトオフィスやワークショップにも対応します。なお、本格的な稼働は令和4年4月を目指しています。

設置場所

宇陀市室生大野2241番地
(室生小学校付近)

令和2年度決算を認定しました 一般会計決算額は歳入226億2千6百万円 歳出は222億3百万円

令和2年度の決算を認定しました。

歳入については繰入金や市税、地方特例交付金等が減少したものの、国庫支出金、県支出金、市債等が増加しました。

歳出については賃金や繰出金、償還金、利子及び割引料等が減少したものの、負担金、補助金や委託料、報酬等が増加しています。

こんな質問が出ました

質問 有料広告掲載料が大きく減収となった理由を説明してください。

答弁 広報紙とホームページ、うだチャン、この3点で有料広告を運営しています。その中でうだチャンの広告の件数が減っております。

質問 ふるさと納税が順調に伸びています。今後クラウドファンディングを活用して地域活動や地元企業の支援を行うべきではありませんか。

答弁 近隣自治体の動向を研究してまいります。

質問 宇陀の魅力発信、移住定住プロモーションのために出した広告は効果がありましたか。

答弁 東京・大阪の駅などのデジタルサイネージに「じゆうだ」というロゴを用いた広告を出させていただきました。待ち合わせ場所にドン

と出ておりましたので見上げている方は相当数おられました。ただ具体的な問い合わせなどは、まだございません。

質問 YouTubeを使って宇陀をプロモーションする企画はどのような成果をあげたのでしょうか。

答弁 20本の動画を公開して市内の事業者さんの情報発信をしています。合わせて約9000回、再生されており効果はあったと考えます。

質問 約400万円をかけて約9000再生では費用対効果が低いではありませんか。今後定期的に動画を投稿していくのでしょうか。

答弁 今年度はYouTuber育成事業を行っています。宇陀市出身のYouTuber「カミワザ」に指導頂いてYouTuberを育成します。動画の更新は育成したYouTuberに担ってもらいたいと考えています。

質問 学童保育は待機児童が出ておりませんか。

答弁 令和2年度の登録者については233人。定員については255人で待機というのはいりません。しかしながら1学童において、若干、多くなる場合もありますので、特定の日が多くなるないように配慮をしております。

質問 GIGAスクール端末を活用して、不登校の児童生徒に学習の機会を提供できているでしょうか。

答弁 一部の不登校の生徒に授業の配信を行っています。また、保健室に登校している児童生徒に授業の様子を端末を通じて見てもらったりしています。

質問 マイナンバーカードの普及のための取り組みは進んでいますか。

答弁 令和2年1月から、市役所ふるさとテラスに臨時窓口を設置しています。また、地域事務所や休日窓口でも対応するために会計年度任用職員（臨時職員）も増員しています。令和3年7月現在で1万2422人（41.77%）の市民がマイナンバーカードを取得しました。

質問 地籍調査はどの程度進捗していますか。

答弁 令和2年度末現在、55.3平方キロメートルが完了しています。割合では23.75%になります。

質問 予防接種事故対策負担金はどのような性質のものですか。

答弁 昭和50年に2名の予防接種事故があり健康被害が出ております。その方々に障害年金と医療手当を支給するための負担金です。

Pick up 4

宇陀市学校適正化推進委員会が設置されます

市内の児童生徒の減少などによる小中学校の小規模化に計画的な対応をするため、教育委員会の付属機関として宇陀市学校適正化推進委員会を設置し、検討委員会の答申に基づいて学校の具体的な適正化の在り方について審議します。

こんな質問が出ました

質問 新しく委員会を設置するのに、条例の一部改正なのはなぜですか。

答弁 当初は検討委員会の条例の廃止を検討していましたが、条例の趣旨・目的が同じであり、継続性がある事から一部改正が妥当と判断しました。

質問 今回は公募する委員が追加されますが、どのような募集方法を検討しておられますか。

答弁 広報やホームページ、学校などできるだけ多くの方に応募していただけるような方法をとりたいと考えております。

質問 今後の委員会開催スケジュールについてはどのように考えておられますか。

答弁 第1回目の委員会を12月頃、第2回目は2月頃を考えております。これを受けて、今後は基本計画を策定する事に向けて検討をしていく予定で考えております。

Pick up 5

大宇陀南部地域ボランティア有償バスが本格運行を開始します

昨年12月より実証実験を行っていましたが大宇陀南部地域ボランティア有償バスが、令和3年12月1日より本格運行に切り替わります。定時定路線型で運行するバスに、デマンド方式が組み合わされ、利用者の自宅から目的地まで、ドア-to-ドアでの利用が可能になり、通院、お買い物等の移動手段が確保されます。

運行区間	使用料	運行形態	運休日	便数
上片岡集荷場前から辻村病院まで 東平尾から辻村病院まで	1乗車につき 大人 300円 小人 150円 定期券(1カ月) 大人 6,000円 小人 3,000円	定時定路線型にデマンド方式	土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (12月29日～1月3日)	6便(1日)



Pick up 6

「財政の健全化」に向けての中間報告を受けました

令和2年11月に奈良県より令和元年度の宇陀市の財政状況に対して「重症警報」が発令されました。市としてこのことは看過できない事態であることから、県と連携して財政改善に取り組みしており、その取り組みについて中間報告がありました。

本年3月より、財政改善に向けた県と合同勉強会を開催し、現状の把握、課題の洗い出しを行い、①経常経費適正化、②投資的経費、③資産運営、④徴収、⑤税源涵養等の5つの検討項目について、具体的な改善方策を取りまとめた旨の報告を受けました。

今後の進め方は、「宇陀市財政健全化計画」を策定し、12月定例会に県の財政支援に伴う補正予算を提案するとともに、1月に県と市との間で「財政健全化の推進に関する協定書」の締結を行い、財政健全化計画の公表を目指す旨の説明がありました。





● 宇陀市議会会議規則が一部改正されました

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備及び、行政手続き等において、原則として押印を廃止する動向を踏まえ、市議会に対する請願に係る署名捺印の見直しを行いました。

● 2件の意見書を提出しました

- ・ コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- ・ 沖繩戦戦没者の遺骨等が含む地域の土砂を基地建設の埋め立て資材等に使用しないよう求める意見書

2件の意見書を全会一致で可決し、国会、政府等に対して提出しました。

一般質問

聞いてみたいなこと
こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



まつうら りくこ
松浦 利久子
議員

高齢の親が中高年の子どもを支える「8050問題」について

質問 宇陀市の現状と担当各課、社会福祉協議会等との連携体制をお聞きます。

答弁 問題の状態を把握するのは親が高齢で介護が必要な状況になる等、今まで擁護してきたひきこもりの子どもさんの生活を支援しきれなくなり、介護福祉課などに相談することで、初めて把握することが多く、45ケース把握しています。

ご本人やご家族は、それぞれ異なる事情を抱えていることから関係課が連携して支援にあたる必要があります。今年度から、重層的支援体制構築事業を開始しており、宇陀市役所のどこの窓口で相談していただいても、ご本人の同意を得て関係する部署が集まり、その支援の方策を検討することとなります。

質問 ひきこもりの方が自宅から出るきっかけとなる場所はありますか。

答弁 就労ありきが目標となつてしまわない様、まずは本人が社会へ関わる一歩としての居場所づくりが必要とさ

れています。県内でも障害があつてもなくても利用できる居場所やフリースペースが広がってきています。障害がない方にはパソコンの練習や自由に過ごすことができる事業所、精神障害者の方、その家族の方が集う会、アルコール依存症の方が集う会など、その方の状態に合わせて居場所を紹介します。

宇陀市が目指す
まちの姿について

質問 奈良県は滞在型観光を促進するために、民間事業所の力を借りて県東部地域での宿泊施設の新設を推奨しています。市長がスポーツツーリズムを推進するにあたって宿泊施設の誘致、また以前予定をしていた、ひのき坂西側の市有地整備の再検討の予定はありますか。

答弁 スポーツツーリズムによるスポーツ施設との利便性を考慮し、また、ポストコロナ時代の観光戦略を視野に入れ、新たな顧客層にも対応した宿泊施設が必要になります。多様で魅力ある宿泊施設の誘致を目指して誘致活動を行います。

ひのき坂西側の大規模な市有地は榛原駅周辺のまちづくり計画のエリアになっています。こちらは健康増進拠点として総合運動場を中心としてスポーツツーリズム構想によるまちづくりを進めます。

市有地の鉄板の囲いについても、整備のうえ取り除き、居住環境を整えます。



いたに けんじ
井谷 憲司
議員

榛原駅前活性化の 取り組みについて

質問 『榛原駅前交流施設整備事業(仮称じゅうだCafe)』について現時点での内容についてお尋ね致します。

答弁 観光案内コーナー、電動アシスト自転車の貸し出し、日帰り観光者の案内、特産品コーナー、マルシェのようなイベントコーナーや活性化のイベント、移住定住などの情報発信、飲食コーナーとして市内外から訪れた方が集うような憩いの場づくり、そして、市民も楽しむ駅前の賑わい創出の場になるように考えています。

質問 この事業について市長のお考えをお尋ね致します。

答弁 市外の方へのおもてなし、市の情報発信をする、そして、駅前で人々が滞留する大変大切な施設。小さな施設ですが、駅前を明るくし、これから始まる大きなまちづくり、そのスタートを示す施設と想っています。地域の人流れ、交流人口が増え、相乗的に地域全体が盛り上がり、そのため、起爆剤と考えています。

妊婦健診の支援について

質問 多胎児(双子以上)妊婦等で、通常より多くの健診を必要とする妊婦さんに対し、経済的支援として無料クーポンを追加で配布してはどうかと考えますが、お考えをお尋ね致します。

答弁 妊娠中の健診は、胎児にとっても妊婦さんにとっても重要な健診です。健康であっても特有の病気になる事もあると認識しています。宇陀市でも多胎児妊娠のご支援として妊婦健診の費用助成の拡大を検討して参ります。

コロナ禍に係る 生活支援について

質問 現在予定している宇陀市でのコロナ禍に係る新しい生活支援についてお尋ね致します。

答弁 自宅療養者に対して、一つは親族等の支援が得られない方に、食料品をお届けするサービス、2つ目は血中の酸素濃度を測るパルスオキシメーターを県から届くまでの間貸出する2つの支援を健康増進課で、そして、『生理の貧困』に対する対策として、11月から人権推進課、各地域事務所の窓口にて生理用品と各種相談チラシを1セットとして配布していきます。

※『生理の貧困』の課題については、本年4月9日に市長に対し、緊急の申し入れをさせて頂いておりました。



みやた みき
宮田 美紀
議員

災害時の対応と 対策について

質問 災害派遣医療チーム(DMAT)の活動状況と隊員数をお聞きます。

答弁 設立以降の災害現場への出動はありませんが、奈良県からのPCR検査への協力要請を受けて、計3回出動しています。隊員数は医師1名、看護師5名、業務調整員3名の計9名です。

質問 普段のトレーニングはどのように行っていますか。

答弁 衛星電話等の情報伝達訓練をはじめ、県内DMATとの連絡会や奈良県防災訓練への参加により、日々知識と技術を錬磨しております。

質問 トリアージができる病院関係者は何人くらいおられますか。

答弁 市立病院の医師・看護師で約100名がトリアージを行える状態です。

質問 「災害時協力井戸の登録」という取り組みが各地で行われています

が、宇陀市としての考えをお聞きます。

答弁 災害時の生活用水、飲料水の確保に有効な手段の一つであると考えております。緊急時の備えとして井戸利用の登録についても充分検討していきたいと考えております。

質問 ペットを連れての「同行避難」についての対応をお聞きます。

答弁 避難所でのペットの受け入れは行いますが、居室への持ち込みは原則禁止し、敷地の外で飼育専用のスペースを設置することを考えております。使用できる動物の原則は犬・猫・小動物などの比較的小型の動物としています。

質問 公園の老朽化したベンチ等は防災ベンチにするなど、市全体を防災として機能させることも必要ではないかと考えますが、市長の考えをお聞きます。

答弁 宇陀市においては、公園の防火水槽の整備、防災拠点、消防機庫など様々な自主防災の強化を進めているところです。今後も災害に強い安心して住み続けられるまちづくりということを築いていきたいと考えています。

※災害時のカウンセラー等のアフターケアについて要望しました。



かめい まさゆき
亀井 雅之
議員

宇陀市立病院の現状と課題、そして今後のあり方について

質問 前任の市長が市政運営していた昨年2月の市立病院職員の死亡事案を受け、職場環境改善を図ることを目的に『こころの相談窓口』を設置。職員の悩みなどを気軽に相談できる対策をとっていますが、このことだけであの痛ましい事案を二度と繰り返さない対策となりうるのか伺います。

答弁 職員を対象とした社会保険労務士による『こころの相談窓口』の開設と共に、ハラスメント研修会の開催や生駒市が行っている「クロスメンター制度（他部署の先輩職員が若手職員の指導員を担う制度で、若手が先輩を指名できる制度）」の導入を予定しており、ひとりで悩まず、気軽に相談できる体制を整え、再発防止に努めます。

質問 昨年7月の市長就任以来、今日までの1年3か月の間、市立病院の最高責任者として、市立病院にどの程度赴かれ、市立病院とどのように関わられるのか伺います。

答弁 市立病院内の職務内容や状況については、病院長や病院事務局長から報告を受け、私自身少し足が遠のいているのが事実であり反省しています。そういうこともあり、病院内に自席を設け、病院経営者の立場から限られた時間であっても病院職員と執務を共有しながら職場改善に当たりたいと考えています。

質問 病院施設の鍵の紛失や、心病を患って休職する複数の職員が存在するなど多くの人為的な問題を抱えています。それらの対応について伺います。

答弁 休職している職員について、職場環境、対人関係などに原因があるものと認識しています。それらの解決のため、産業医の指導と助言、管理職による課員の健康管理や相談窓口の開設などを通じて、職員のメンタルヘルスの対応に取り組んでいます。

質問 「宇陀市立病院組織マネジメント検討委員会」が立ち上げられましたが、なぜ市長は出席されないのですか。

答弁 これまで、副市長を座長とし、3回の会議を開催してきましたが、4回目からは、病院経営者としての立場から出席し、市立病院の今後の経営形態などの議論を深めていきます。



いづい えまさお
井戸家 理夫
議員

キッズ・ゾーンの今後の整備方針について

質問 市内で第1号となる榛原榛見が丘地域内・しらゆり保育園周辺での指定に伴い課題はあったか。今後の整備方針や整備予定はどのようになっているか。

答弁 今回の事業は、地域、行政、警察が一体となって、早期に指定することが出来ました。指定するにあたって、関係機関が連携し、地域の皆さんも協力的であったため、特に課題となった点はございません。今回の整備並びに広報活動を通じて、この道路は、保育園が近くにあることを通行するドライバーにお伝え出来、自治会の意識高揚につながったとお声を頂いております。8月5日（木）にセレモニーを開催させて頂きました。その中で、榛見が丘自治会長より、「ながら見守り実施宣言」があり、見守りの強化を宣言していただきました。

今後の整備方針・予定につきましては、今回のモデル事業の検証を行い、地域からの要望があった場合にについては、桜井警察署と連携し対応してまいります。

障がい者スポーツの充実について

質問 『東京パラリンピック2020』が9月5日に13日間の日程を閉幕しました。日本人をはじめ世界中のパラアスリートの活躍に感動された方も多かったと思います。パラリンピックの意義は、『様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むとあり、多様性を認め、共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会です。また、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることにも気づかせてくれる。』とされています。市は、障がいをもつ方がスポーツに取り組んでいたか意識について、どのように認識しているか。また、気軽にスポーツに取り組んでいただくため、どのような取り組みを行っているか。

答弁 障がい者スポーツの充実、地域共生社会を実現していく上で、重要な取り組みであると考えます。老若男女、障がいの有無にかかわらず誰でも直ぐに行うことができるポッチャを中心、子どもから大人まで、障がいのある人もない人も、ともに楽しめるスポーツのまちづくりを進めていきたいと考えています。

●線状降水帯による集中豪雨に対する備えについても質問しました。



たなか たけし
田中 剛志
議員

税収の確保 人口減少への対策

質問 人口減と市民税の減収について、どのように分析されていますか。

答弁 人口減少より、生産年齢人口数の減少幅が大きく、給与所得者数が減少し、市民税の所得割額の減少に繋がっています。

質問 移住・定住推進のターゲットを子育て世代にするなら給食費の無償化や、医療費助成の年齢を18歳までに引き上げることはできませんか。

答弁 無償化や事業の拡大により新たな財源確保を行う必要性があり、この2事業だけで9,100万円に及ぶものと推察できます。適正化と財政の観点もあり、慎重に検討させていただきます。

使用料の確保 既存施設の有効活用

質問 「平成榛原子供のもり公園」について、調査・検討中だと思いますが、進捗状況をお答えください。

答弁 近隣自治体でのPark+PFの実施事例等の情報収集を行っています。今後は、さらに調査検討をし、規模、機能、配置や整備の方針等、事業計画を決定し、民間活力導入可能性調査を行って参りたいと考えています。

財産収入の確保 遊休地や未 利用の売却や貸付・2050 脱炭素に向けての取組

質問 2050年二酸化炭素排出実績ゼロ表明自治体の中に、奈良県も入っており、宇陀市において土地活用も視野に入れ表明するお考えはありますか。

答弁 公共用地の遊休地・未利用地の売却や貸付は今後も必要であり、脱炭素を図るためにも太陽光発電等の設置を促進し、自主財源確保を検討して参ります。

質問 市長、今取り組まなければならぬ問題は、山積していますが、どのようにお考えですか。

答弁 今ある施設を上手に使っていき、公園もあります。遊休地、使っていない建物の活用などを、行財政改革の中に、しっかりと位置付けて取り組んでいるところです。子育て世代を中心に施策を重点化させることにつきましても、自主財源確保の仕組みづくりに関係しますので、工夫を凝らしていきたいと思えます。



にしおかひろやす
西岡 宏泰
議員

パワーハラスメントについて

質問 パワーハラスメントの定義は。

答弁 宇陀市においては「職員のハラスメントの防止に関する規則」において、職務上の地位若しくは権限又は職場における優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、継続的に他の職員の人格や尊厳を侵害し、精神的若しくは身体的な苦痛若しくは不快感を与え、又は職場環境を害す言動をいう。

質問 「道義的な責め」とは。

答弁 「人として正しい道を守る責任」を意味しますので、発生した事案に対する長としての責任を意味すると解します。

質問 彼ら（前市長、前副市長、元上司）にはどのような対処をさせるのか。

答弁 職員は地方公務員法により処分することができませんが、退職後はそれもできません。また、特別職は処分することはできません。そのような法律はございません。自らを律していたかどうか方法がありません。

質問 「議会議員を含め全市を挙げて改めて問題意識を喚起し、これを行い続け、再発防止に努めることを強く念願するものである。」とあるが、我々としてはどのように対処すればよいのか。

答弁 「議会についてはというよりは、全ての人達に対して」と考えます。市長、副市長、幹部職員、管理職と組織上の立場はあっても、人間としては平等です。

一人ひとりが相手の立場を理解して、相手の立場に立つてお互いを認め合って言動していただきたいと考えます。日常の行動の中において、常に自分自身に問いかけてをお願いします。

意見

当時の元市長・元副市長のトップらの常軌を逸する言動が起因し、圧力を受けた組織内の職員には、異常な状態が常態化してしまい、職員同士の繋がりが壊滅状態となり、おかしいことをおかしいといえる職場環境ではなくなっていたということ。言うまでもありません。当該事案の職員には仕事以外の悩みがなかったと判断されることから、パワーハラスメントが原因で精神疾患に罹患し自死したのだと、本人になり代わり断言させていただきます。

その他の質問

宇陀市の水道事業の在り方について。



やぎ かつひこ
八木 勝光
議員

新型コロナウイルス感染症 拡大防止のための 検査体制の構築について

質問 感染拡大防止のためには迅速なワクチン接種と合わせて予防的、面的なPCR等の検査体制の構築が必要ではないでしょうか。

答弁 ワクチン接種については、65歳以上の高齢者が7月28日で2回目を完了し、64歳以下についても9月21日現在66%で、10月の中旬には希望する全市民の2回目接種が完了します。

感染が蔓延している地域では検査キットを市民に配布している自治体もあります。宇陀市では感染者が特定されており、濃厚接触者等の検査と行動制限により蔓延は防止できているため、全対象者への検査導入は時期尚早と考えています。市内の14医療機関中12カ所、症状がある場合はPCR等の検査を受けることができ、県内でもその割合は高く盤石な検査体制が構築されています。

質問 県内でも100%ワクチン接種ができています。介護施設等でクラスターが発生しています。デルタ株へのワクチン効果は限定されています。

とりわけ学校、保育所、介護施設等密を避けることができない現場には予防的、面的な検査の導入が必要ではないでしょうか。

答弁 児童生徒に感染者が発生した場合、関係部局と医師会等の協力を得て早急な検査体制の確保を行っています。

面的な検査については、7月に県内の高齢者施設で多数のクラスターが発生し、老人福祉施設の全職員にPCR検査を実施し、宇陀市内の施設では全員が陰性でした。また、施設職員に感染者が出た場合には全入所者や職員にPCR検査をスポット的に面的な検査を実施しています。

多くの市民が一斉に実施する面的な検査体制については、専門家の医師より宇陀市の感染状況では無意味とのアドバイスをいただいています。引き続き宇陀市に合った感染症対策を行ってまいります。

●要望

市民の健康と暮らしを守り、当たり前の生活を一日も早く取り戻すために、感染者が出てからではなく市民の安全確保に、今後の感染状況を見ながらも予防的な意味での検査体制構築について引き続き検討されるよう要望します。

●その他の質問

高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくりについて



かつい たらう
勝井 太郎
議員

自治体デジタルトランス フォーメーション(DX)に ついて

質問 令和2年12月25日に「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が閣議決定され、政府、地方自治体がDXに取り組むことになりました。また実際にデジタル化推進するため本年9月1日にデジタル庁が設置されています。市としてどのような体制でDXを推進するのですか。

答弁 副市長を統括官として体制を構築していきます。また副市長を補佐するポストを設置して市職員の中から登用します。

●意見

一般の方向けのデジタル化の取り組みはスマートフォンを活用したものが中心でQRコード決済など民間主導で進んでいるものが政府や自治体に取り込まれていくように見受けられます。民間企業と組むことや民間人材の活用も検討してください。

質問 コロナ禍の中で市役所内でも分散ワークや自宅で行うテレワークを推進していくべきではありませんか。

答弁 一部ではありますが、テレワークを行い自宅で仕事をしている職員がおります。また、執務室から離れた場所勤務している職員もおります。

●意見

テレワークをすすめるためには8時30分から17時15分までの勤務を原則としないフレックスタイム制のような制度も必要になってきます。柔軟な人事制度を検討してください。

質問 デジタル化の取り組みは人口減少が続く宇陀市のような山間部でこそ活用すべきものです。市役所に行かないと申請できないものを自宅にいながら申請できるようにすれば、どこに住んでいても安心して行政サービスを受けることができるようになります。本人認証のためにマイナンバーカードを普及させることとマイナンバーカードをスマートフォンに取り込んで認証を行うアプリの活用が必須です。市の見解を伺います。

答弁 市役所にお越し頂かない、申請書類にお書き頂かない、この2つを念頭において着実に進めていきます。





ひろざわ たかひで
廣澤 孝英
議員

まちづくりの計画について

質問 宇陀市のまちづくりの1丁目1番地のミスタードーナツ跡地利用について、以前の一般質問の中で、近鉄さんから土地を借りて仮設の建物で構わないので、チャレンジショップや宇陀市のお土産を売ることからでも、試みてはと、具体的な提案もさせて頂きました。この議会に建物の設計予算が提出されています。この場所の意味を受け止めていただき、検討され、スピーディーに計画、実行に向けて行動されていることに、感謝致します。この計画の新聞報道の中で、仮称「じゆうだカフェ」との名称に市民から行政は駅前にカフェを作るのかという誤解があるようですが、市として榛原駅前の賑わい創出という課題について、市内外の方が気軽に利用できる交流施設の設置が目的のほずで、カフェを作るのが目的ではないですね。

答弁 この施設で何をするかということですが、近鉄さんに問い合わせさせて頂いたところ、約3年間に民間企業、進出の意向は全くなかった。「行政が使っていたらできるなら、安価で土地をお借します。」と言ったことから、市長

のご決断があつて、民間企業が来ないのであれば、あそこに賑わいの場に行政が何かを作って、行政施設として市の活性化を狙えないかという決断です。何をするかということですが、観光案内、土産物、特産品等のPR、市の移住や、起業、ロート製菓さんとの情報など、市の積極的な情報発信する、駅前交流施設を作ろうとしていきます。しかし、市外から訪れる方のみサービスになつてしまつてはならないかと、市民の憩いの場であり、「あつて良かった。」というものを提供しなければならぬのではないかと、市内での協議を基に行政サービス、観光情報、移住定住、そして、レンタルバイクの更なる積極的な展開も考えたところに、カフェ、飲食、軽食と言つたコーナーですので、純粋のカフェを運営すると言つことと全くありません。施設の中で市民が寄つてもらえるようなものを考えた結果、カフェ喫茶コーナーは必要不可欠であるという判断でございます。現在のところ指定管理等を想定しておりますが、民間活力で民間のアイデアを入れるという考えで、決して単にカフェを経営するということではございません。もう一つ付け加えますと、カフェと申しますのは、単に喫茶店を意味するのではなくて、カフェというのには、コミュニケーションの場ということでの名前です。

●その他の質問
地元の高등학교との連携について



きくおか ちあき
菊岡 千秋
議員

一般廃棄物(家庭ゴミ)の処理事業の方向について

質問 今、奈良県内ではごみ処理施設の建て替えが、広域化を前提に取り組まれています。宇陀市は、岩清水にあるごみ焼却場の老朽化、地元の使用期限協定の関係、コストの関係などから桜井市のごみ焼却場への投入を協議していましたが不調となりました。まずは現状と今後の計画についてのお示し下さい。

答弁 宇陀市では、宇陀クリーンセンターと東宇陀クリーンセンターの2ヶ所の焼却場が稼働しており、いずれも稼働より25年が経過しますが、日常の管理や点検整備により、適正に運営ができています。また、平成17年度がピークであった、ごみの処理量が人口や世帯数の減少、ごみの減量化などで、減っていくものと考えられます。経過年数から近い将来に大規模改修や建替えが必要と考えており、20年後30年後のゴミ処理行政を見据えた早い段階での計画策定が必要です。今後は、令和9年度末を期限とし、現実的な方向性や将来的な負担、候補地の環境調査なども含め曾爾村・御杖村とも十分調整し

地元や県と協議を行い、議会にお示しさせていただきます。

「近鉄榛原駅」の駅名変更について

質問 もつと宇陀市を知つて欲しい、もつと宇陀市に来て欲しい、また定住してほしいという気持ちをこめて、宇陀市の玄関先である、「近鉄榛原駅」を名実ともに宇陀市の玄関先に合うようなネーミングにすればとの提案です。これまで宇陀市では、ハード・ソフト両面にわたる様々な取り組みをしてきましたが知名度の向上、飛躍的な交流人口の増大にまで至っていません。宇陀市の名を入れた駅名に変更する効果は、宇陀市の存在を地図やカーナビなどに表示させ、近鉄路線の路線図にも示されます。また駅構内や電車内では絶えず、アナウンスされます。それらにより宇陀市の認知度は格段に進むと考えます。長く慣れ親しんだ駅名を変えることには、いささかの抵抗や郷愁も働くことは当然だと考えますが、15年前の町村合併の大きな決断に比べれば、その壁は高くないものと考えます。市長の考えはいかがですか。

答弁 新しい駅名への変更は一定の効果はあると考えますが、費用負担の問題や、民意の見極めも必要であり、現時点では政主導で事業化するには困難であると考えます。



た だ よ し ろ う
多田 與四朗
議員

市長公約の具体的な方向性と取組について

質問 榛原駅前でのリニューアル構想について。

答弁 現在の駅前の印象は殺風景で大和高原の風情が感じられない。榛原まち協製作の「今と昔の榛原」を見ると当時の駅前や商店街は賑わっている。大きなコンセプトを持ってデザインしていかねばならない。どいういうコンセプトかという点で高涼しい気候、スポーツが盛ん、健康なまちをテーマに空間のデザインを考えたい。市街地の整備は行政が勝手にやるのではなく民間の力が必要である。

質問 全体構想(デザイン)について。

答弁 総合体育館、総合グラウンドは健康増進の拠点でスポーツツーリズムの構想を持っている。駅前広場から築く駅前南商店街の活性化、市役所までの中通り商店街の活性化も考えている。周辺には、東部農林事務所跡、移転計画のある消防学校など県有地や市有地、空地となっている民有地などがあるが有効活用を考えてい

る。駅前広場と各商店街をセットで人の流れをつくっていく。また、人が流れるような施設を考えたい。まだ、お示しできるところではないが県と大急ぎで詰めていく。宇陀市のアイデアを県の大きな方向性に乗って早急に絵を描き県市連携まちづくりの協議の中で段階を踏みながらも具体的なデザインを進めるつもりである。形になるには時間がかかるが(市長の)任期中に整理をつけていく。

質問 宇陀市経済の活性化と市役所が地域商社となってトップセールスとは。

答弁 本来、宇陀市は、経済を活性化できる筈で、それだけの力を持っているが、アンケート結果では、商工業が活発でない、土地利用が有効でない、働く場所がない等の意見が目立つ。宇陀市が地域商社となって生産から出口戦略までプロデュース、民間企業と方法について研究を重ねているところ。宇陀産のプロモーションやYouTubeを活用したPRも行っている。オール市役所で宇陀を売り込んでいく。大都市圏に近い立地を活かし宇陀ブランドを全国に知名度アップしたい。その為、土地利用推進室・企業誘致推進室が二個一で動いている。将来への取組をしっかりやっていく。

※他に、宿泊事業(美榛苑)のあり方についての質問をさせて頂きました。



う え だ の ぼ る
上田 徳
議員

カーボンニュートラルにみる環境対策の有り方と市の対策

質問 環境破壊に繋がるような太陽光発電設備の設置に対する条例による規制と条例で守れない環境対策への対応について。

答弁 国及び県には規制に伴う法令はなく、宇陀市では独自の「宇陀市生活環境と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定して、太陽光発電などのクリーンエネルギーを推進している。その一方で立木伐採して設置する場合は景勝や砂防機能の低下が懸念される。

条例は売電を目的にした、事業用発電設備を対象として制定したもので、現行適用範囲を、立木伐採を伴う場合は更に条件を厳しくする条例改正を令和4年4月施行に向けて検討する。

奈良モデルによるごみ広域行政と宇陀圏域(宇陀市・宇陀郡)での宇陀市の方針と役割

質問 桜井市との奈良モデル案が解消したことによる新たな広域行政圏の考え方と進め方について。

答弁 宇陀市が広域化を目指すなら県は調整を図り協議を進めて行く考えを示している。新たな広域化について、曾爾村・御杖村との枠組みを踏まえ、現地改修または移転等の課題について市議会に諮り進めて行く。その為には、施設の延命化経費を含め、ごみ処理施設更新計画等について、令和4年度中に策定を行い、令和10年度から、広域化が出来るようスケジュールを決定していく。

宇陀市の道路課題と今後の取組

質問 宇陀市の道路整備計画と県の新広域道路交通計画について。

答弁 道路は市民生活や経済活動の基盤となる根幹的な社会資本の一つであり生活を支える重要な役割を果たしています。県は香酢峠のヘアピンカーブ他随所で改良工事を鋭意実施中です。本年七月に県は新広域道路交通計画において中和幹線を東へ延伸し165号線の三重県津市まで大阪都市圏と名古屋都市圏を結ぶ中和津道路として宇陀市の名前とともに位置づけられました。これは市長のマネIFESTOで165号線の整備を掲げてその第一歩が実現した。道路の中間である宇陀市の活性化に期待したい。



きかせて！あなたの未来

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。

No. 23



まつもと あかね
松本 明音さん
15歳 榛原中学校3年(左)
ただ なお
畠田 奈央さん
14歳 榛原中学校2年(右)

松本 明音さん

私は小学三年生から約7年間少林寺拳法を続けてきました。この約7年間で、護身の技術だけでなく、本当の強さや優しさ、継続することの大切さなどを学びました。私たち2人は今年、全国中学生大会と全国大会の奈良県代表に選ばれ、昇段試験では少拳士二段に合格することができました。これらは、小学生のころから続けてきたことの成果だと思います。私は将来、医療従事者になりたいと思っています。コロナ禍で困っている人が増えている今、たくさんの人の助けになりたいと思うようになりました。そのために、志望校に合格できるよう頑張りたいです。

畠田 奈央さん

私は、小学校1年生から少林寺拳法を始めました。中学校に入ってから、部活動との両立が難しく諦めてしまいそうになった時もありましたが、松本さんが声をかけてくれてペアを組むことになって全国中学生大会と全国大会の2枚の切符を手にすることができました。誘ってもらってなければ辞めてしまっていたかもしれませんし、続けることの意味を知らないままだったかもしれません。周りの人たちへの感謝を忘れず、色々なことに挑戦したいと思います。

次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
			12/1	2	3	4
					本会議 (議案提案)	
5	6	7	8	9	10	11
		本会議 (議案質疑)		常任 委員会		
12	13	14	15	16	17	18
	常任 委員会	予算 委員会				
19	20	21	22	23	24	25
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		本会議 (討論・採決)		
26	27	28	29	30	31	

10：00 開会（日程・時間等変更の場合があります）

募集します！

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？
住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真を添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。
年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

編集後記

編集委員
西岡宏泰

9月議会は決算議会とも言われています。令和2年度における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する計数(表)をいいます。昨年度予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を調べ、市民を代表して行政効果を評価します。今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。決算は、ただ単に認定して終わりではありません。重要なのはその結果を、その後の予算編成や財政運営の一層の健全化と適正化に生かしていくことです。

最終日に一般会計・特別会計(6会計)、各企業会計(5会計)が認定されました。籠谷順司代表監査委員、上田徳監査委員には、日々熱心な審査を頂き、理解しやすい決算審査意見書を作成して頂きましたことに感謝いたします。最後になりましたが、8月27日に開催されました、奈良県市議会議長会において、山本樹裕議長が特別表彰を受けられました。今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771
IP電話 0745-88-9082
FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<https://www.city.uda.nara.jp/>